

# 感謝の心

- ・頼ることのできない世の中だから自立や精神で前向きに生きるべきである。
- ・資格、資質とも十分、かつ言動にも責任が持てる、そのような人物が今の日本には必要である。
- ・人間はもともと神の意志によって運命の流れ（河）が決められていてそれに沿った生き方（身）が決まっています。自分の意志（我）をなくしていくことが大事である。
- ・ありがとうという言葉は神様に対しての感謝の言葉だったのです。人に対して使われるようになったのは室町時代以降です。
- ・感謝に始まり感謝に終わる。感謝が魂を進化させる。
- ・慈悲による助け合いが人が人らしく生きるという事です。要するに人には慈悲が大切だという事です。
- ・教育の原点は人格の形成である。人格とは道徳的行為の主体、すなわち社会道徳である。道徳とは人の踏み行うべき道である。
- ・「慈悲は人のためならず」で他人にかけた慈悲がほかの人から慈悲を頂くことが出来る。そういった慈悲の施し合いがこの世の苦を取り除いてくれる。
- ・人間は体と心と魂の三つからなる自然の一部である。
- ・命あるものは全て変化する。この世界に変化しないものなど何一つないのだ。だから全てのものは生きている。
- ・坂本竜馬は富に執着しなかったこと、自分を売り込まず、ただ必要とされる人間

を目指した。

・混迷の世の中、最後に頼りに出来るものは自分の体と心しかないと言われは感じ始めている。この格差社会に生き抜くには自分を磨き勇気を持って前向きに進み情報と機を見分け実践経験を積み重ねるしかないと思います。絶対に負けないという強い信念を持つことです。

悩んでいる方のメール、お電話をお待ちしています。出張がありますので携帯へ連絡願います。

携帯 090-8225-3456

